

阿智村教育委員会 令和3年1月 定例会会議録

- 会議日時 令和3年1月15日(金) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村中央公民館会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩 委員：熊谷 均
【事務局】
教育次長：熊谷修一（全体進行）
公民館兼社会教育係長：川上 悟 子育て支援室長：島岡佐喜子
保育園総園長：原 満
学校教育係：熊谷 宏 学校教育専門主事：羽生武彦
欠席 学校給食係長：石原哲成

1 教育長あいさつ

昨日、新型コロナウイルス感染警戒レベルが4になり、南信州圏域に新型コロナウイルス特別警報Ⅰが発出された。急きょ、阿智第一小学校の本日のスキー教室を中止にした。昨日、村の対策本部会議を受けて夕刻臨時の校長会を開催し、各学校の対応を決定した。少なくとも1月はスキー教室を中止とする。PTAの役員には連絡をとって理解していただくこととした。1月の授業参観等も中止し、2月に延期して様子をみたい。保護者等の会議についてはリモート会議や書面決議で対応していく。卒業式や入学式については、昨年のコロナの状態より悪化しているの、状況によって判断していく。文部科学省からは、感染者が一人発生したことのみをもって学校全体を臨時休業にすることは控えてほしいとの通知がでている。

この度、阿智村教育委員会が令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰の内定を受けた。村小中学校コミュニティスクールの活動について、「ふるさと学習カリキュラム作成委員会」「小規模校学校課題研究委員会」「若駒アカデミー」の事業が評価を受けたもの。長野県では、阿智村と大町市の2教委が表彰される。個人ではなく教育委員会として受賞したことに意義があると思う。

2 協議事項

(1) 令和3年度教育委員会主要事業計画及び予算案について

- ・教育次長説明
(原彰彦委員)

若駒アカデミーの中学1年生の導入について。3年生は定例会で承認した。2年生はいつの間にか決まり進められていた。1年生については校長会で話があった。2年生は実施されているのでさておき、新しいことについては教育委

員会で審議する必要があるのではないかと思います。一気に進めていくこともあるかと思うが、一度立ち止まって3年生2年生を検証して1年生に本当に必要かどうか審議して進めるべきではないかという思いがあります。このことは急にやる必要はないと考えている。じっくりと考えて、本当に必要なのか、何時がよいのか考えていってほしいと思う。一番私が懸念していることは過程。審議や協議がしっかりされて進めばよい。緊急事態の場合は仕方ないが時間をかけてやっていく。審議を省いてやっていくとどこかに無理が生じて勝手にやっていると思われかねない。以上から、1年生の若駒アカデミーの予算は削除すべきであると思います。

(教育長)

ご意見として伺います。2年生について「いつの間にか」と言われましたが、昨年度も定例教育委員会の予算審議で2年生若駒の予算を計上しているわけです。その時に意見を言うていただくのが通常であり、その際発言はございませんでした。事業計画書には多くの事業が盛っておりご意見がなければ進んでいくのは自然。年度当初の教育委員会重点施策の中にも「小学校放課後学習教室から若駒アカデミーまでの5年間の継続的な学習支援体系の構築」という計画をお示ししておりますが、その時にもご発言はいただいておりません。議会一般質問の答弁については全委員と校長先生方に毎回配布している訳でございますが、昨年9月議会白澤委員の「中学1,2年生への若駒導入について」の質問に「1年生にも繋げてまいりたい」との趣旨の答弁をしており、答弁書もお配りしたのでご確認いただきたいと思います。意見を言われるのは結構ですが、「いつの間にか決められた」と言われると、私とすればそういうことではない、と申し上げるしかございません。

(原彰彦委員)

この事業はこういうことでどうですかという問が一切なかった。どこかでやるのだろうと思っていた。今年は私も反省して、そういうものが出てきた時にはどこかで言わなければいけないと思った。正しいか正しくないかと言われれば意見を出さなかったのが間違っているんだろうと思っている。そういう機会があった時に私も声にあげなければいけなかった。見解の違いはあるかもしれないけど私としてそのように受けとめてしまった。私の意見として1年生については削除してほしいといわせてもらった。

(教育長)

4月に重点施策の一つとして「小学校高学年から中学校3年生までの継続的学び」という計画をお示し「いかがか」と提案させていただいた。そこで発言していただかないと。そこはご理解いただきたい。

(原彰彦委員)

わかりました。以前にこれは「案ですね」と言ったことがあった。教育長は「案です」と言った。どこかで協議するかと思ったらそのままいってしまった。その時に意見を言わなかった私がいけなかったかもしれません。今後、私はこのようなことについて発言をしていきたいと考えている。ほかの委員

の考えも聞きたい。

(教育長)

わかりました。原彰彦委員より若駒アカデミー1年生への導入見合わせについてご意見がありました。もう一度理由を詳しく言っていただきたい。

(原彰彦委員)

2年生、3年生を行った時にどのような成果があったのか。どういうタイミングで1年生にもっていくのか。私として確固な意見はないが、どんどん進める中で成果や様子が何回か出していただいたが、あまりにもとんとん拍子に行き過ぎる。抽象的な言い方で申し訳ないけれども、どこかでストップをかけたリ立ち止まったりするという、そういう教育委員会であってほしい。教育委員会ではよいことを行っても、いつ決まったのか、なんでそうなったのかと言われてしまうことがある。私が知らないことを村の人から言ってもらうこともある。理解を深めていく場を設けていく必要があると思う。過程をぜひ大事にしてほしい。やっていることに対してはそんなに問題はないと思う。

(羽生学校教育専門主事)

3年生の若駒アカデミーについて毎年終了時点で事業評価をしている。生徒と保護者にアンケートをとり、結果を定例教委で報告している。90%以上の子どもが学習の力がついた、主体的に取り組めたということで「よかった」と答えている。保護者についても、地域的に通塾できない保護者がいい機会であったと答えている。むしろ、バスを増発するなどして、後半講座の出席率が高まるように一層の支援をしてほしいという声がある。2年生への拡大ですが、授業である以上、ニーズの把握と無理のない運営ができるか、授業として充実したものになるかということ、試行を通して把握していきたいと考えている。2年生については昨年6回の試行を実施した。試行を通してニーズが高いということ把握して、4月以降の本格実施につなげていく。試行の様子については口頭であったと思うが話をしております。1年生についてはこれから試行に入るところで、学校にも無理強いしないでくださいとお願いしているが、65名中31名の希望があった。これから4回の試行をしたい。終了段階でアンケートをとり、子どものニーズ、意欲、無理のない運営ができるように事業評価をしながら進めてまいりたい。

(原勝人委員)

この方向で進めていただきたい。5,6年から中学3年という一区切りの学習を深めるということでの充実はよろしいと思う。

(熊谷均委員)

継続して行っていくことによって通常の授業がよりスムーズに進んでいって、生徒の学力が伸びていくということは大賛成である。地域的、経済的問題をフォローできて実施していくことができれば、ぜひやってもらいたい。

(熊谷歩委員)

親の立場から、学校の授業で教わるとわからないがアカデミーの先生の方はわかりやすいという声を聞いた。それも問題ではあるが、アカデミーがあることによって学力が上がっていくことはありがたい。1年生に関しては部活があ

るが、自分は勉強を一生懸命やりたいという子どもたちにとっては機会を与えてもらうことはよいと思う。アカデミーの予算は主に何に支出するのか。

(羽生学校教育専門主事)

一番は講師の人材確保です。持続可能性を考えた時に高い報酬を払っているわけではないので、時給 1,950 円ですが安定的に講師の先生に来てもらうためには増額も含めた予算がいることになると思う。中 1 まで拡大すると 2 教科 2 講座で行くと予算総額で 30 万円弱になります。

(熊谷歩委員)

予算をかけて若駒で勉強をしているのだから、通常の授業の時にわからないというのではなく、受けてわかる授業になってもらいたい。

(原彰彦委員)

私はさっきの意見のままである。

(教育長)

原彰彦委員から反対意見が出されましたが、他の 3 人の委員が賛成ということで、若駒アカデミーの中学 1 年への導入はお認めいただけるということでよろしいでしょうか。(全委員同意)。賛成多数でお認めいただきました。

(原彰彦委員)

清内路の芝生化の件ですが説明会の様子をお聞きしたい。予算は入ってないですね。

(教育次長)

12 月 1 日に清内路校庭に芝生を張りたいということで、PTA、保護者、学校評議委員の方がおられ説明をさせてもらいました。対象者全員が出席したわけではなく一部でしたが、反対される意見が多かった。費用も掛かる、まだ早いのではという中で、教育委員会とすれば来年度は予算を計上するのを見送ることにしました。

(原彰彦委員)

今後はどのように考えるのか。

(教育長)

現時点では白紙。来年度以降のことは考えていない。

(原彰彦委員)

こちらで良かれと思った事業でも当然反対はある。そのような時に押し通すことなのか、原点に戻るのかという選択も非常に大事になる。無理して押し進めることではないと思うので理解を得ながら進めていただければありがたい。

(教育長)

一部でも反対される方がいる中であえて進めていく必要はないと判断し、来年度の予算盛ることは見合わせた。

(原彰彦委員)

一度止まってくれたことはありがたいことである。小さな声であっても、ある一部の声かもしれないが、中には押し通さなければならないこともあるかもしれないが声を聞いていく。そういう会で意見が言えなくて何処かで燻ってし

まう。できれば一人一人が自分の意見を伝えられるようにやってほしい。

(原勝人委員)

子育て支援の放課後子供教室を進められるということで、丁寧な事業計画の下で充実した活動になるように進めていただきたい。放課後子供教室とアカデミーの連携はないという理解でよいか。

(子育て支援室長)

今のところは分かれてということで進めておりますが、放課後子供教室の活動の中に学習活動というものがあるので、そのあたりを今後の計画委員会、運営員会で検討を重ねながら進めていきたいと考えている。

(原勝人委員)

安全な居場所づくりの中で、様々な体験や遊びが展開される理解でよいか。

(子育て支援室長)

それに加えて児童の健全な発達や育成をはかる、経験豊かな子どもたちが育っていく、そういったところを最終の目標にしています。

(原勝人委員)

公民館関係で、伍和公民館の改築ですが住民の声をしっかり聞いてもらい、丁寧な説明の中で事業が進むようお願いする。

(公民館係長)

今のところ早くて3年間の継続事業になる。用地についても地元の皆さんを中心に選定していただき、設計も工事もそうですが地元の皆さんの同意がないとできないものですから、その辺を配慮しながらやっていきたいと考えている。

(原勝人委員)

地元の窓口は自治会という理解でよいか。

(教育長)

教育委員会としてはそう考えているが村長部局と詰めてまいりたい。教育委員会だけでできる事業ではないと思っている。

(原彰彦委員)

公民館の関係ですが成人式を中止にした。いつ判断したのか。

(公民館係長)

12月28日です。

(原彰彦委員)

細かいことはそのくらいでよいが、成人の方にはいつ連絡したのか。

(公民館係長)

個人に通知を出したのが同じくらいの時期です。

(原彰彦委員)

成人の方の家庭で中止の連絡を受けた。例えば貸衣装を用意している場合がある。キャンセル料はどうなるのか。このようなことは出ていないのか。

(教育次長)

キャンセル料のあり方だと思いますが、キャンセル料が不要の会社もあり、他の市町村の様子を見る中で、現在は予算もまったくありませんし議会にもか

けておりませんので、どのようにしたらよいか提案させていただきたいと考えている。教育委員会では今のところ未定です。

(熊谷歩委員)

成人式のことですが、延期ではなく中止ということか。

(教育長)

その点は微妙なところで、近日中に実行委員会があるので、実行委員の皆さんのご意見を伺いながら決めてまいりたい。

(2) 生活・生徒指導上の課題について (非公開)

(3) その他

3 報告・連絡事項

(1) 各係からの報告

①ふるさと学習発表会について (学校教育係)

・羽生学校教育専門主事説明

②教職員のICT活用に係る状況調査のまとめと考察 (学校教育係)

・川上学校教育専門主事説明

(原勝人委員)

コロナ拡大の状況下で、自宅で学活などの活動ができる状況が整っているという理解でよいか。

(川上学校教育専門主事)

環境さえあれば行うことができるようになっている。

③阿智村新型コロナウイルス感染症対策について (公民館係)

・公民館係長説明

④社会教育研究集会について (社会教育係)

・社会教育係長説明

(2) 2月定例教育委員会の開催について

2月15日(月) 午後1時30分

(3) その他

(閉会 午後3時05分)

教育長・教育委員 署名/捺印